

科目名称	リハビリテーション医学	学年学期	単位数	時間数
		第2学年 前期	1	30
担当教員	山下淳一、磯野祐介、田中寛高、伊東孝洋、篠森丞 児島由起子、中野洋一	授業に関わる 実務経験	<input checked="" type="checkbox"/> 有 (理学療法士) <input type="checkbox"/> 無	

【1】 授業概要

多職種が連携したリハビリテーション看護を実践するために、PT・OT・STの役割について理解する。

【2】 学習目標

1. 講義や実技を通して、疾患別のリハビリテーションや疾患特融の症状に対応したリハビリテーションについて理解する。

【3】 第1看護学科ディプロマ・ポリシーとの関連性

- 1. 人間を理解し、倫理的な態度で看護を実践する力
- 2. あらゆる対象に応じた看護を実践する力
- 3. 地域の特性を看護に生かす力
- 4. 保健・医療・福祉システムにおける連携・協働できる力
- 5. 主体的に学び続ける力

【4】 授業計画

	内容	主な授業形態
1	総論	講義
2	運動器疾患の理学療法①	講義・演習
3	運動器疾患の理学療法②	講義・演習
4	脳血管疾患の理学療法	講義・演習
5	呼吸器疾患のリハビリテーション	講義
6	循環器疾患のリハビリテーション	講義
7	がん疾患のリハビリテーション	講義
8	災害時のリハビリテーション	講義
9	作業療法概論	講義・演習
10	ADL向上のための支援①	講義・演習
11	ADL向上のための支援②	講義・演習
12	コミュニケーション障害のリハビリテーション	講義・演習
13	高次脳機能障害のリハビリテーション	講義・演習
14	摂食・嚥下障害のリハビリテーション	講義・演習
15	試験・まとめ	

【5】 評価方法

1. 筆記試験、授業への取り組み(学内実習)を含めた総合評価を行う。

【6】 教科書

特に指定なし
講義はパワーポイントを使用する。

【7】 参考書

なし

【8】 受講生へのメッセージ

講義の内容により、担当講師が変わります。
リハビリテーションと一言で言っても、疾患や症状によって様々な方法があります。また、リハビリテーションの効果を高められるか否かは、知識と技術によります。さあ、正しい知識・技術を一緒に学びましょう。